



【Well-beingひろば】ってご存じですか？【Well-beingひろば】は動物福祉に関する情報発信や情報共有のために実験動物福祉部会が全国大会で毎年行っている企画です。また、動物実験についてのお悩みを受け付けている相談窓口でもあります。「動物福祉通信」はひろばに寄せられたご相談や企画で得られた情報について、会員や会員以外の動物実験に従事される方に共有するために作成しています。

QUESTION

Q

施設空調の故障が多発しています。メーカー、メンテナンス業者、保守管理方法について他施設の実例を聞きたいです。



ANSWER

A

保守契約として四半期～半年に1回の点検を行うことが多いようです。依頼先の施設管理会社は、大手から地域の工務店まで様々です。具体的な企業名は福祉部までお問合せください。

術後管理について、具体的にどうしてる？

【マウス ラット ウサギ イヌ】

- 処置を保温マット上で行うことで体温低下を防いでいます。
- 3種混合麻酔を使用する際は体温低下に注意しています。
- 鎮痛薬として塩酸ブプレノルフィン（レペタン）を投与しています。
- 侵襲度が高い場合は赤外線保温灯で保温しています（～2時間）。
- 術後2～3日間は縫合部位の解れや摂餌飲水量を確認するようにしています。

実験動物福祉部会では、全国大会でのイベント【Well-beingひろば】だけでなく【オンラインWell-beingひろば】や【動物福祉通信】などで情報収集・発信を行っています。会員のみなさまの生の声を大募集しておりますので、ぜひご参加ください！！

